



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年12月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライステージ
コード番号 2178 URL <http://www.tri-stage.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 妹尾 勲
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役COO (氏名) 丸田 昭雄

TEL 03-5402-4111

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	27,742	10.8	2,092	△22.0	2,099	△21.8	1,237	△21.9
22年2月期第3四半期	25,044	—	2,684	—	2,685	—	1,584	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	164.80	162.29
22年2月期第3四半期	211.92	207.38

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	9,801	6,725	68.6	893.70
22年2月期	9,616	5,482	57.0	731.20

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 6,725百万円 22年2月期 5,482百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,057	14.0	3,317	△8.3	3,322	△8.3	1,927	△8.6	256.67

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 7,525,500株 22年2月期 7,497,600株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 147株 22年2月期 72株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 7,507,690株 22年2月期3Q 7,476,896株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく、四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については四半期決算短信（添付資料）P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第3四半期累計期間】	5
【第3四半期会計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復が続く中で、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、景気が持ち直していくことが期待されるものの、海外景気の下振れ懸念、為替レート・株価の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが払拭できず、依然として厳しい状況にありました。

一方、当社の顧客の属するダイレクトマーケティング市場は、通信販売の定着とともに依然として拡大基調が続いているものの、市場規模が拡大したことから、伸長率は鈍化傾向となっています。

このような市場環境下、当社は、前事業年度に引き続き、ダイレクトレスポンス手法により商品あるいはサービスの販売を試みるダイレクトマーケティング実施企業に対して、商品開発、表現企画、媒体選定、受注、顧客管理といったバリューチェーンの各局面で、最適なソリューションの提供に努めてまいりましたが、その一部についての確かなソリューションが果たせなかったこと、また、テレビCMの仕入れにおいて、当第3四半期に入り、テレビCM市場が活況になったことからテレビCM枠の市場価格が想定を上回ったため、見込み通りの仕入れが果たせなかったこと等の理由により、当社の収益性が低下しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は27,742,997千円(前年同期比10.8%増)、売上総利益は3,138,494千円(前年同期比12.2%減)となりました。販売費及び一般管理費は1,046,130千円(前年同期比17.7%増)となり、その結果、営業利益は2,092,363千円(前年同期比22.0%減)、経常利益は2,099,653千円(前年同期比21.8%減)となりました。また、税引前四半期純利益2,099,653千円(前年同期比21.8%減)から法人税、住民税及び事業税と法人税等調整額の合計862,396千円を差引後、四半期純利益は1,237,257千円(前年同期比21.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①財政状態の分析

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して185,269千円増加し9,801,753千円となりました。

流動資産については、前事業年度末と比較して月次売上が増加したことにより売掛金残高が82,094千円増加し4,018,223千円となり、また現金及び預金も139,672千円増加し5,480,263千円となったこと等により、前事業年度末と比較して200,273千円増加し9,553,259千円となりました。

固定資産については、前事業年度末と比較して15,004千円減少し248,493千円となりました。

流動負債については、月次の仕入額の増加により買掛金が187,794千円増加し2,748,949千円となったものの、法人税等の支払いにより未払法人税等が1,035,990千円減少し81,940千円となったこと等により、前事業年度末と比較して1,064,390千円減少して3,050,968千円となりました。

固定負債については、前事業年度末と比較して6,433千円増加し25,379千円となりました。

純資産については、四半期純利益1,237,257千円の計上等により6,725,405千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は前事業年度末から2,260,327千円減少し1,030,263千円となりました。当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な内容は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、営業活動によって獲得した資金は207,672千円(前年同四半期は1,797,271千円の獲得)となりました。これは主に税引前四半期純利益2,099,653千円を計上したことに加え、業容の拡大により仕入債務が187,794千円増加した一方、売上債権が82,094千円増加し、法人税等の支払いが1,872,890千円発生したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、投資活動に使用した資金は2,473,969千円(前年同四半期は54,875千円の使用)となりました。これは事務機器、サーバー等の有形固定資産の取得及び、定期預金の預入による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において、財務活動によって獲得した資金は5,969千円(前年同四半期は5,699千円の獲得)となりました。これは主にストック・オプションの行使に伴う株式の発行による収入によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の通期業績予想につきましては、平成22年9月27日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

該当事項はありません。

②四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,480,263	5,340,590
売掛金	4,018,223	3,936,128
その他	117,926	126,899
貸倒引当金	△63,154	△50,633
流動資産合計	9,553,259	9,352,986
固定資産		
有形固定資産	90,725	103,950
無形固定資産	30,657	30,592
投資その他の資産	127,110	128,954
固定資産合計	248,493	263,497
資産合計	9,801,753	9,616,483
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,748,949	2,561,155
未払法人税等	81,940	1,117,931
賞与引当金	136,149	—
役員賞与引当金	—	57,150
その他	83,929	379,122
流動負債合計	3,050,968	4,115,359
固定負債		
退職給付引当金	25,379	18,946
固定負債合計	25,379	18,946
負債合計	3,076,347	4,134,305
純資産の部		
株主資本		
資本金	633,702	630,642
資本剰余金	623,702	620,642
利益剰余金	5,468,227	4,230,970
自己株式	△226	△77
株主資本合計	6,725,405	5,482,178
純資産合計	6,725,405	5,482,178
負債純資産合計	9,801,753	9,616,483

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	25,044,884	27,742,997
売上原価	21,472,007	24,604,503
売上総利益	3,572,876	3,138,494
販売費及び一般管理費	888,779	1,046,130
営業利益	2,684,097	2,092,363
営業外収益		
受取利息	1,027	7,283
その他	721	70
営業外収益合計	1,749	7,354
営業外費用		
支払利息	84	—
為替差損	—	63
営業外費用合計	84	63
経常利益	2,685,762	2,099,653
税引前四半期純利益	2,685,762	2,099,653
法人税、住民税及び事業税	1,182,152	853,945
法人税等調整額	△80,860	8,450
法人税等合計	1,101,292	862,396
四半期純利益	1,584,470	1,237,257

(第3四半期会計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	8,785,537	9,230,458
売上原価	7,621,700	8,217,497
売上総利益	1,163,837	1,012,961
販売費及び一般管理費	310,545	373,663
営業利益	853,292	639,297
営業外収益		
受取利息	5	1,700
その他	494	55
営業外収益合計	499	1,755
営業外費用		
支払利息	73	—
為替差損	—	63
営業外費用合計	73	63
経常利益	853,718	640,989
税引前四半期純利益	853,718	640,989
法人税、住民税及び事業税	380,553	258,395
法人税等調整額	△29,768	4,863
法人税等合計	350,784	263,259
四半期純利益	502,933	377,730

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,685,762	2,099,653
減価償却費	20,182	30,653
貸倒引当金の増減額(△は減少)	23,667	12,521
賞与引当金の増減額(△は減少)	124,574	136,149
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△58,800	△57,150
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,175	6,433
受取利息	△1,027	△7,283
支払利息	84	—
売上債権の増減額(△は増加)	△858,763	△82,094
仕入債務の増減額(△は減少)	603,963	187,794
未払消費税等の増減額(△は減少)	15,524	△93,267
営業保証金の増減額(△は増加)	500,000	—
その他	△133,129	△159,520
小計	2,927,214	2,073,888
利息の受取額	1,179	6,674
利息の支払額	△84	—
法人税等の支払額	△1,131,038	△1,872,890
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,797,271	207,672
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△27,161	△73,969
無形固定資産の取得による支出	△27,714	—
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△2,400,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,875	△2,473,969
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	5,699	6,118
自己株式の取得による支出	—	△148
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,699	5,969
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,748,095	△2,260,327
現金及び現金同等物の期首残高	2,891,318	3,290,590
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,639,413	1,030,263

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。